

国際ロータリー第2500地区第6分區

帯広東ロータリークラブ会報



2015-2016年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏郎
幹 事 加藤 昭治
メディア委員長 西田 重人

「連：つらなる」

第1502回例会

平成28年1月12日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016年度
国際ロータリーテーマ

【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016年度国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

ガバナーテーマ

【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー
東 堂 明

- ◎起 立 板倉利男 SAA
- ◎友情の握手 板倉利男 SAA
- ◎点 鐘 上野敏郎 会 長
- ◎開 会 宣 言 板倉利男 SAA
- ◎ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ◎会 食

会長挨拶

上野敏郎 会長

本日は若干出席者が少ないようでありますけども、本当に寒い中、このようにご出席いただきましてありがとうございます。

1月は、皆さんご承知のように「職業奉仕月間」であります。今さらで、恥ずかしい話ですが、国際ロータリークラブが、職業奉仕月間に何を求めているかを調べてみました。先ず、RI理事会は、クラブだけではなく、私たちロータリアンも、職業奉仕の理想を日常的に実践することを求めています。その考え方を強調するために月間を定め、自らの職業を通しての奉仕について考えるプログラムを求めていることとなります。今日のプログラムは、新入会員卓話ですが、会員相互が、それぞれの職業について認識を深めることは、今月の月間の主旨に沿うものだと考えます。来週のプログラムであります、「職場訪問プログラム」も、RI理事会の主旨にピッタリするものと考えまして、是非とも、多くの会員の参加をお願いしたいと思います。

最後に、RIは、空席の職業分類への入会促進を求め



ておりますが、このことも頭に置きながら、1月の活動を進めていきたいと思っております。以上申し上げ、会長挨拶とします。ありがとうございました。

写真の贈呈

福岡正雄 会員



会務報告

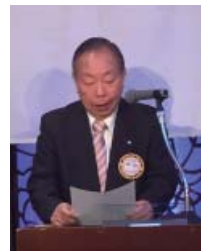
加藤昭治 幹事

◎帯広東RC移動例会(職場訪問)の開催のご案内

1月19日(火)12時30分
株式会社特殊農機具製作所

◎帯広東RC第4回クラブ協議会開催のご案内

1月26日(火)18時30分
ホテル日航ノースランド帯広
出席義務者：役員・理事・委員長



ニコニコ献金

親睦活動委員 金丸 勝 委員

- 上野会長 “寒い朝”でした。吉永さゆりの歌に同じ題名の歌があったなあと思った時、ふっと青春時代を思い出しました。よってニコニコします。



- 高橋副会長 写真を頂きありがとうございました。
- 益子副会長 誕生日に記念品を頂き有難うございました。
- 加藤幹事 新年交礼会、親睦委員会の皆さんご苦労様でした。あと半年よろしく。
- 板倉会員 お陰様で創業60年を迎える事が出来ました。
- 西藤会員 1月30日生まれです。お祝いありがとう。
- 金丸会員 結婚記念日の記念品を頂きました。ありがとうございます。
- 加藤(肇)会員 本日、会員卓話をさせて頂きます。よろしくお願い致します。

出席報告

出席プログラム委員会 相澤和彦 委員長

○12月15日(火) 第1499回例会

会員数 38名
計算に用いる会員数 34名
ホームクラブ出席者数 28名
メーキャップ者数 1名
出席率 85.3%



○12月22日(火) 第1500回例会

会員数 38名
計算に用いる会員数 34名
ホームクラブ出席者数 25名
メーキャップ者数 2名
出席率 79.4%

○12月の出席率 83.8%

○第1478回～第1500回例会(上期)

出席率 80.3%

○1月12日(火) 第1502回例会

ホームクラブ出席者数 22名

プログラム

会員増強委員会 齊藤蓮輝 委員長

【新入会員卓話】

○金丸 勝 会員(住友生命釧路支社)

私は保険会社に勤めていますので、色々と医療関係の知識等に接する機会がございまして、がん治療の最先端と言われます「粒子線治療」に関わる資料等を配布させて頂いております。



パンフレットの一つは、兵庫県にあります粒子線医療センター、ここは日本で初めて出来た医療センターでありまして、日本では唯一、世界でもドイツにある施設と本センターしかない、2種類の粒子線治療(重粒子線治療と陽子線治療)が出来る施設であります。もう一つは、鹿児島県にあります「がん粒子線治療研究センター」で、滞在型の施設としてリゾートホテルのようなところに泊まりながら治療を受けることができます。実際に北海道からも何人かこちらの施設に治療に行かれております。

思い起こせば昨年、特に著名人の中でがんにかかるとか訃報のニュースがあって、がんに関心が高まった年でもありました。又、年明けの3連休にもがんによる訃報が伝えられました、ジャーナリストの竹田圭吾さん、私の大学の1級先輩であります。私も出演するTV番組をよく見ていたんですが、すごい激やせされたなあと思いつつ、でも自分の病状のことは言われていないので、結局、亡くなる直前までTVに出演され、この3連休ですい臓がんにより亡くなりました。

非常にニュースにもなった「がん」についてですが、先程も説明させて頂いたがんの最新治療法である粒子線治療の説明と弊社、住友生命の啓発の活動をご紹介したと思います。



まずは「闘わないガン治療」のパンフレットご覧になっ

ていただきたいと思います。がん治療は闘うのではないかと思われるかもしれませんが、いわゆる粒子線治療というのは、闘わないがん治療と言われております。全国の粒子線治療の施設がパンフレット裏面に掲載されていますが、一昨年の8月に札幌の北海道大学で陽子線の治療センターが設立され、現在、全国で14施設があります。簡単に粒子線治療はX線と何が違うのかと言いますと、X線治療よりも粒子線治療の方が力が強くて、陽子線よりも重粒子の方がもっと力があります。

又、大きな違いがありまして、X線治療は体に入った直後が一番力が強く、中に入っていくにしたがって力が弱まります。一方、粒子線は中に行けば行くほど強くなって、一番強い状態でがんの細胞に当たることが出来るという特徴があり、効果的な治療と言われております。

○加藤 肇 会員(K-T E C)

映像制作、依頼を受け、発表会や講演などの撮影記録をし、DVDやブルーレイの制作をしたり、インターネットに載せることの出来る動画を制作しています。



他にTV局(HTB北海道テレビ)のニュースの業務委託(十勝地区)や他の映像制作会社への技術協力を行っています。

昔のカメラ(VHSや8ミリビデオ)で撮影したものをDVDに記録し直す作業も行っています。

元々は中学の頃に写真を撮っていたのが始まりですが、友人の家が電気店を営んでいて、友人の父のビデオ撮影を手伝ったのがビデオに興味を持つきっかけとなり、短大時代にアルバイトで三脚持ちをして、TVの世界を目指しました。卒業して、札幌のTV局(HTB)の制作会社に就職、カメラマンとなり、ニュースや番組制作に携わりました。縁あって、生まれの帯広の会社に移籍しカメラマンを続けましたが、2010年に独立、撮影の仕事のほかに、ばんえい競馬中継業務やOC-TVの市議会中継の技術を行っていました。

現在は一人親方ではありますが、私の業務に協力いただけるフリーランスの方々にお手伝いいただきながら業務を行っております。

映像を使って何かを行うことが近年増えていますが、昔のイメージで「高いもの」「おいそれと出来ないもの」というイメージが一般的にまだ強いかと思います。しかし、一昔前から比べるとニーズに応える(価格・内容等)作り方がしやすくなってきていると思います。



映像の敷居はそんなに高くない、ということを知ってもらえるような仕事を続けていきたいと思っています。

◎閉会宣言

板倉利男 S A A

◎点 鐘

上野敏郎 会 長

次週プログラム

職業奉仕委員会

1月19日(火) 「移動例会」職場訪問
(株)土谷特殊農機具製作所